

留学体験レポート

国際学部 二年 今川陽太

1 はじめに

私は、アメリカのセントラルミズーリ州立大学に8月22日から12月12日まで、約4か月間留学をしました。私がこの留学を参加しようとした目的は、言語能力の向上させることと異文化について体験し学びたいと思い留学しました。このレポートではアメリカでの生活、授業、課外活動について書いていきたいと思います。

2 アメリカでの生活

私たちは大学の敷地内にある寮で男女それぞれ分かれて生活をしていました。2人1部屋で風呂とトイレを隣の部屋の人たちと4人で共有して使う感じです。ルームメイトとスイートメイト（隣の部屋の人たち）は同じ留学組の人たちでした。寮の一階にはビリヤード台や卓球台があるのでそれで遊ぶこともできます。食事は朝昼晩3食無料で近くにあるトッドホールという食堂を利用していました。そこではビュッフェ形式でピザやハンバーガー、サラダなどを食べることができます。日替わりの食べ物もあるので楽しむことができます。生活する上で必要なものがあるときは大学から出ているバスを利用してウォールマートというスーパーマーケットに行って調達していました。値段は安く、品数も多いためそこで欲しいものは買ったので、とても便利な場所です。

3 授業について

授業は月から金曜日まで週5であり、毎朝9時から開始です。ReadingやWriting、Grammarなどアメリカ文化や日米関係も勉強していきます。最初に行われるテストによってクラスは3つに分かれます。それぞれの授業の先生たちはとても分かりやすく、分からないところは親切に詳細に説明してくれます。日本人だけではなく他の国の人たちもいるので授業を通して交流ができるので楽しく授業をすることができました。授業内容はすべて英語なので、最初はあまり理解できずに先生に聞くことが多くありましたが、日を重ねるうちに慣れてきたと感ずることができました。

4 課外活動について

授業が終わった後や土日を利用して何度か課外活動することがありました。English Language Institute(ELI)の先生方が私たち留学生のために数多くの課外活動を企画してくれました。カンザスシティの大きなショッピングモールや美術館に行ったり、メジャーリーグ観戦、ボーリングなど他にもまだまだありますが多くのイベントがありました。この課外活動では他のクラスの留学生とも交流ができる機会なので、話をしたりして楽しむこ

とができました。

5 おわりに

今回の留学は自分にとってとてもいい経験だったと感じています。他の国の文化のについて学び、他の国の友達を作りいい経験になりました。言語能力の向上だけでなく、人との関わりでのコミュニケーション力などが身についたと思います。相手から来るのを待つのではなく、自分から積極的に行くことがとても大切なことであると思います。留学先でお世話になった先生方や友達、留学に携わってくれた大学の先生方、そして親にはとても感謝しています。